

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|---|--------|---------------------|
| A-132 | 16-035 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Parental alcohol-related disorders and school performance in 16-year-olds-a Swedish national cohort study. スウェーデン国民コホート研究：16歳の学業成績と親のアルコール関連障害 | | |
| 執筆者 | | |
| Berg L, Bäck K, Vinnerljung B, Hjern A. | | |
| 掲載誌 | | |
| Addiction. 2016 Oct;111(10):1795-803. doi: 10.1111/add.13454. | | |
| キーワード | | PMID |
| 親のアルコール関連障害、心理社会的な要因、レジストリーデータ、学業成績、社会経済的要因、スウェーデン | | 27178010 |
| 要 旨 | | |
| <p>目的： 親のアルコール関連障害と子の学校成績の関連について、特に親や子の性別に関連するかどうか、親の精神的な健康問題や犯罪的な行動のようなアルコール問題とともに共通して現れる他の有害な心理社会的な事情による関連があるかどうかを研究する。</p> <p>方法： スウェーデンの国民登録コホート研究。対象は1990年から1996年までに同国で生まれた740,618名。線形とロジスティック回帰分析を用いて、親のアルコール関連障害による入院とその子供の義務教育の最終学年である15-16歳時の学業成績の関連を社会人口統計学的な交絡因子と心理社会的な共変数を考慮して分析した。</p> <p>結果： 父母のアルコール関連障害による入院は子の学年成績および国民数学試験のZスコア低値と関連があった。親の学歴と社会人口統計学的な交絡因子で補正した後、学年成績のZスコアのベータ係数は母親の入院が-0.42(95%信頼区間(CI)-0.45, -0.39)、父親の入院は-0.42(95%CI-0.43, -0.40)であり、数学試験のベータ係数は母親の入院は-0.36(95%CI-0.39, -0.33)、父親の入院は-0.31(95%CI-0.33, -0.29)であった。高等教育資格がないことに対するアルコール関連による入院の多変量調整オッズ比は母親の入院が1.99(95%CI=1.84-2.15)、父親の入院が2.04(95%CI=1.95-2.15)であった。社会心理的要因を調整すると、ほとんどの家族において親のアルコール関連障害に対する統計的影響は消失し、Zスコアのベータ係数は0.03~-0.10、高等教育資格がないことに対するオッズ比は0.89-1.15であった。母親のアルコール関連による入院が学業成績に与える影響は男児より女児で強かったが、父親の入院による影響は子供の性別で有意な差を認めなかった。</p> <p>結論： スウェーデンにおいて、両親のアルコール関連障害は、子供の15-16歳時の学業成績低下と関連しており、その多くは親の精神障害、薬物使用や犯罪行為と社会的または児童福祉の干渉を受けるような家族の社会心理的事情に起因していた。</p> | | |